

【樹木・草花の部屋】

カラマツ（マツ科カラマツ属 *Larix kaempferi*）

和名；カラマツ(唐松) **別名**；落葉松(ラクヨウショウ)、フジマツ **英名**；Japanese Larch

マツ目 落葉性高木

原産地；日本

花言葉；豪放 豪胆 大胆 **花の色**；



← **写真-1** カラマツの樹形

撮影日：2013年7月14日

撮影場所：コルティナ・ダンベッツォ(Cortina d'Ampezzo
北イタリア)

撮影者：Mさん

北イタリア・ドロミテ渓谷のほぼ、東の端の街、コルティナ・ダンベッツォを一望に展望できる、ポコロ展望台で見られました。同行者の誰かが、「カラマツがある」との声に、見上げてみました。小生、カラマツを実際に目にするのは初めて。「これがカラマツなんだ」と……。普段、見かける松の仲間とはかなり異なる感覚でしばらく見ていました。

後で判ったことですが、日本原産の日本固有種とか……。東北地方南部・関東地方・中部地方の亜高山帯から高山帯に分布し、天然林は少なく日当たりのよい乾燥した場所が生育に適するそうです。また、火山地帯に生育することが多く、荒れ地・痩せ地・湿地に生育し、パイオニア的性格を持つそうです。樹高 20-40m になる落葉針葉樹。幹の太さは 1m に……。



← **写真-2** カラマツの枝姿

撮影日：2013年7月14日

撮影場所：コルティナ・ダンベッツォ(北イタリア)

撮影者：Mさん

写真-3 カラマツの葉 →

撮影日：2013年7月14日

撮影場所：コルティナ・ダンベッツォ(北イタリア)

撮影者：Mさん

枝は長枝と短枝とから……。長枝は 10-50cm になる一方、短枝はひとつの芽のみからなり、1-2mm

の長さしか無い。葉は針形で、白い粉に覆われた薄い緑色であり、長さは 2-5cm。秋には葉



【樹木・草花の部屋】

は黄色く色づき、褐色の冬芽を残して落葉。成木の樹皮は灰黒色から暗い赤褐色となり、表面は短冊状に剥がれるそうです。

写真-4 カラマツの針葉 ⇒

撮影日：2013年7月14日

撮影場所：コルティナ・ダンベッツォ(北イタリア)

撮影者：Mさん



←写真-5 カラマツの実・種子 (マツかさ)

撮影日：2013年7月14日

撮影場所：コルティナ・ダンベッツォ(北イタリア)

撮影者：Mさん

松かさは長さ 2.0-3.5cm で、中に 30-50 個の種子が……。はじめ緑色、受粉後 4-6 ヶ月が経過して十分に熟すと茶色に変化し、種子を散布するそうです。下向きの雄花と紅紫色の雌花が同じ株の樹木で、花期は 5 月。

和名は葉の付いた様子が唐文様に似ているとの意味。落葉するので落葉松、富士山に生育するのでフジマツの別名もあります。秋には黄葉し、春は新緑が美しい。